

7 主な会議、研究会、学会、研修への参加

月	会 議 等 の 名 称	開催地	参 加 者
5	LC メンテナンス基礎 (アジレントテクノロジー株)	横浜市	丸山
	JIS K0102 工場排水試験方法改正説明会	東京都	東山
6	II型共同研究「災害時等の緊急調査を想定した GC/MS による化学物質の網羅的簡易迅速測定法の開発」に関するキックオフ会議	つくば市	太田
	第 28 回環境化学討論会	さいたま市	折原
	平成 31 年度 特定機器分析研修 I (ICP-MS) 第 1 回	所沢市	白倉
	令和元年度全国環境研協議会北海道・東北支部総会	郡山市	山口
	第 12 回食品分析 SEG-EMS (ゲルマニウム検出器) セミナー	東京都	佐藤
	令和元年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会	東京都	小金澤
	令和元年度病原体等の包装・運搬講習会	大阪市	尾島
7	衛生微生物技術協議会第 40 回研究会	熊本市	石黒、大西
	ICP-MS カスタマートレーニング (iCAP Q/RQ Basic コース) (サーモフィッシャーサイエンティフィック株)	横浜市	丸山
	令和元年度特定機器分析研修 I (ICP-MS 第 2 回)	所沢市	渡辺
	HPLC スクール I ~ III (島津製作所株)	札幌市	丸山
8	日本電子(株)主催ガスクロマトグラフ質量分析計(GC/MS)講習会	昭島市	菅原(弘)
9	令和元年度 薬剤耐性菌の検査に関する研修(基本コース)	武蔵村山市	尾島
	令和元年度 薬剤耐性菌の検査に関する研修(実践コース)	武蔵村山市	石黒
	令和元年度食品添加物一日摂取量調査等班会議	川崎市	村越
10	令和元年度地研全国協議会北海道・東北・新潟支部衛生化学研究部会総会等	仙台市	小金澤
	第 45 回全国環境研協議会北海道・東北支部研究連絡会議	盛岡市	柴田(学)、 木原
	令和元年度地研全国協議会北海道・東北・新潟支部微生物研究会総会等	青森市	菊地
	令和元年度地方衛生研究所全国協議会北海道・東北・新潟支部公衆衛生情報研究部会総会・研修会	山形市	柴田(千)
	令和元年度 化学物質環境実態調査分析法開発検討会議系統別部会(第一部会) (第 1 回)	東京都	折原

月	会 議 等 の 名 称	開催地	参 加 者
11	第 46 回日本マスキリーニング学会学術集会	那覇市	石川、山岸、阿部
	令和元年度細菌研修	武蔵村山市	石黒
	Ⅱ型共同研究「災害時等の緊急調査を想定した GC/MS による化学物質の網羅的簡易迅速測定法の開発」に関する研究打合せ	横浜市	太田
	微小粒子状物質 (PM2.5) の測定精度に関する説明会	東京都	丸山
	Ⅱ型共同研究推進会議「LC-MS/MS による分析を通じた生活由来物質のリスク解明に関する研究」	仙台市	折原、東山
	令和元年度 化学物質環境実態調査分析法開発検討会議系統別部会 (第一部会) (第 2 回)	京都市	折原
12	令和元年度「地域保健総合推進事業」全国疫学情報ネットワーク構築会議	東京都	柴田 (千)
	第 56 回全国衛生化学技術協議会年会	広島市	佐々木
1	令和元年度 北海道・東北・新潟ブロック 腸管出血性大腸菌 MLVA 技術研修会	盛岡市	石黒
	令和元年度希少感染症診断技術研修会	東京都	尾口、大門
	第 33 回公衆衛生情報研究協議会総会・研究会 令和元年度地方感染症情報センター担当者会議	和光市	柴田 (千)
	令和元年度残留農薬等研修会	東京都	佐藤
	令和元年度大気分析研修 B コース	所沢市	太田
	第 48 回全国環境研協議会総会・令和元年度地方公共団体環境試験研究機関等所長会議	東京都	山口
	令和元年度化学物質環境実態調査環境科学セミナー	東京都	折原、渡辺、東山
2	令和元年度地方衛生研究所全国協議会衛生化学分野研修会	東京都	葉原
	令和元年度 化学物質環境実態調査分析法開発検討会議系統別部会 (第一部会) (第 3 回)	東京都	折原

8 職員研修

期 日	研 修 名	参 加 者
5.09	衛生研究所管理マニュアル研修	衛生研究所職員 11名
5.23	衛生研究所管理マニュアル研修	衛生研究所職員 1名
12.05	衛生研究所管理マニュアル研修	衛生研究所職員 1名

9 外部団体等研修受入

期 日	研 修 名 称	研 修 員 所 属	人 員
9.06	インターンシップ研修	全国獣医学系大学生	5
10.29	社会医学学実習	北海道大学医学部社会医学実習	7
			計 12名

10 施設見学者及び来訪者

期 日	見 学 者 及 び 来 訪 者	視 察 内 容 等	人 数
6.27	札幌市教育委員会安全衛生委員会	施設・業務一般	15
7.19	中国安徽省研究員	施設・業務一般	7
11.14	札幌保健医療大学保健医療学部栄養学科	施設・業務一般	24
			計 3回、46名

11 展示会

期 間	名 称	開 催 場 所
10.10 -11.12	中央図書館展示(中央図書館との連携事業) 「PM2.5って何？」	中央図書館1階図書室入口横【特設展示1】
R2.2.15 - 2.16	食のまちさっぽろフェスト inチ・カ・ホ2020	北3条交差点広場(西)食のまちさっぽろフェスト inチ・カ・ホ2020 チカホ イベントブース

12 精度管理業務

(1) 微生物係

業務名	実施主体	分析対象試料	分析対象項目
2019年度食品衛生外部精度管理調査	(一財) 食品薬品安全センター	模擬食材 (ハンバーグ) (2検体) 疑似食材 (ゼラチン基材) (1検体) 疑似食材 (ハンバーグ) (2検体) 模擬食材 (マッシュポテト) (2検体) 模擬食材 (液卵) (2検体)	E. coli 一般細菌数 腸内細菌科菌群 黄色ブドウ球菌 サルモネラ属菌
令和元年度外部精度管理事業 課題2 麻疹・風疹	国立感染症研究所 厚生労働省	ウイルス RNA 2検体	麻疹ウイルス、風疹ウイルス
令和元年度外部精度管理事業 課題3 腸管出血性大腸菌	国立感染症研究所 厚生労働省	試料菌株 (3検体)	腸管出血性大腸菌
結核菌遺伝子型別外部精度評価 (2019年度)	厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業) 「国内の病原体サーベイランスに資する機能的なラボネットワークの強化に関する研究」班	精製した結核菌の DNA 3検体 (3株)	結核菌 VNTR 解析

(2) 母子スクリーニング検査係

業務名	実施主体	分析対象試料	分析対象項目
新生児マススクリーニング外部精度管理	NPO 法人タンデムマススクリーニング普及協会	ろ紙血	アミノ酸、アシルカルニチン、ガラクトース、甲状腺刺激ホルモン、17-ヒドロキシプロゲステロン
Newborn Screening Quality Assurance Program	アメリカ疾病管理予防センター (CDC)	ろ紙血	アミノ酸、アシルカルニチン、ガラクトース、ピオチニダーゼ酵素活性、甲状腺刺激ホルモン、17-ヒドロキシプロゲステロン、他ステロイド 4種

(3) 食品化学係

業務名	実施主体	分析対象試料	分析対象項目
食品衛生外部精度管理	(一財)食品薬品安全センター	シロップ 豚肉(もも)ペースト かぼちゃペースト	ソルビン酸(定量) 動物用医薬品(スルファジミジン) 残留農薬(6種農薬中3種農薬の定性と定量)
令和元年度「地域健康保健総合推進事業」 北海道・東北・新潟ブロック「精度管理事業」	地方衛生研究所全国協議会 北海道・東北・新潟支部「地域保健総合推進事業」精度管理事業担当衛生研究所(仙台市衛生研究所)	ニラ、スイセンの有姿試料及び細切試料	リコリン、ガラントアミン

(4) 大気環境係

業務名	実施主体	分析対象試料	分析対象項目
令和元年度 降水分析機 関間比較調査(酸性雨)	(一財)日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター	模擬降水試料 2検体	pH、電気伝導率、塩化物イオン等 合計10項目

(5) 水質環境係

業務名	実施主体	分析対象試料	分析対象項目
環境測定分析統一精度管理調査	環境省	土壌試料 模擬水質試料	鉛及びその化合物、ひ素及びその化合物 イプロベンホス、フェニトロチオン

13 電子版広報誌「ぱぶりっくへるす」

「ぱぶりっくへるす 39号」(令和2年3月発行)

題 名	担 当
赤ちゃんが生まれて初めて受ける検査	母子スクリーニング検査係
食物アレルギー表示に、アーモンドが追加	食品化学係
医薬品と環境	水質環境係
施設見学のご案内	

赤ちゃんが生まれて初めて受ける検査



「新生児マススクリーニング」とは？

札幌市では現在、年間 15,000 人くらいの赤ちゃんが産まれています。

その中には、見かけは元気でも、栄養を成長や活動のための物質に変化させる「代謝酵素」や、体の発育やはたらきを調節する「ホルモン」が生まれつき欠乏していたり、つくる力が弱い子がいます。そのままでは知能障がいや発育障がいに繋がることや、ときにはショックや肝機能異常で生命にかかわることもあります。早期に発見し、治療を行うことにより、未然に防ぐことができます。

「新生児マススクリーニング」とはその早期発見・治療のために、赤ちゃんから少しだけ血を貰って行う、赤ちゃんにとって生まれて初めて受ける検査なのです。

検査結果あれこれ

検査では、赤ちゃんの血に含まれるアミノ酸やホルモンの量を測って、その多さや割合から病気の疑いがあるかどうかを調べます。その結果には「**正常**」の他に、「**要再検**」や「**要精査**」という耳慣れないものがあります。

【要再検】…残念ながら今の技術では確実に正常と判定できない場合です。また赤ちゃんから少しだけ血を貰い、念のためもう一度同じ検査を行います。

【要精査】…病気の疑いがある場合であり、専門の小児医療機関で精密検査を受ける必要があります。その際衛生研究所では専門の先生と直接連絡を取って協力しあい、速やかに赤ちゃんを診てもらえるよう体制を整えます。

なお、「新生児マススクリーニング」対象の病気はごく稀な病気であり、「**要再検**」や「**要精査**」となった赤ちゃんが、必ず病気ということはありません。専門の先生に診てもらった結果、病気ではなかったということも多いのです。

日々気を遣っていること

「**要再検**」や「**要精査**」を告げられたお母さんは、いきなりのことでびっくりするでしょう。病気なのか、そうでないか分かるまでの不安は計り知れないものがありますし、赤ちゃんを連れて病院へ行くのも一苦勞です。ですから、病気を見逃してしまう「偽陰性」はもちろん、「**要再検**」や「**要精査**」の結果病気ではなかったという「偽陽性」も可能な限り少なくしなければなりません。そのためには今行っている検査を常に見直して改良したり、新しい方法を開発する必要があります。

私達「母子スクリーニング検査係」では、今日産まれた一人ひとりの赤ちゃんの検査はもちろん、これから産まれる赤ちゃんのために日々検査法の改善を試みています。

新生児マススクリーニングのもっと詳しい情報は…

札幌市 新生児マススクリーニング

検索



SAPPORO

食物アレルギー表示に、アーモンドが追加



食物アレルギーをもつ人が、アレルゲン(アレルギーの原因となる物質)を含む食品を食べると、体はこれを異物と判断し、免疫が強く働きすぎてしまいます。その結果、じんましんや腹痛などが起き、呼吸困難などで命にかかわる事もあります。食物アレルギーの人にとっては、危険を避けるために、加工食品の原材料が正確に表示されていることがとても大切なのです。

加工食品の食物アレルギー表示制度には、「特定原材料」(症例が多く、強い症状が出る可能性が高い食品)と、「特定原材料に準ずるもの」(特定原材料ほどではないが症例が多い食品)が定められています。

特定原材料については、表示義務があります。一方、「特定原材料に準ずるもの」については、表示することが望ましいとされています。国は定期的な調査を行って、国内で発生した食物アレルギーの症

例について詳しく調べています。2018年度の最新の調査報告では、「木の実類(ナッツ類)」を原因とするアレルギーが、前回の調査と比べて5%近くも増加しました。

2019年9月、消費者庁はこの調査結果にもとづき、特定原材料に準ずるものに、**アーモンド**を追加しました。

この報告では、くるみによるアレルギーも増加していることがわかっており、特定原材料の表示については、今後も注目していく必要がありそうです。

特定原材料 7品目 (表示義務あり)	特定原材料に準ずるもの 21品目 (表示は努力目標)
えび、かに、小麦、そば、卵、乳、落花生(ピーナッツ)	アーモンド、あわび、いか、いくら、オレンジ、カシューナッツ、キウイフルーツ、牛肉、くるみ、ごま、さけ、さば、大豆、鶏肉、バナナ、豚肉、まつたけ、もも、やまいも、りんご、ゼラチン



医薬品と環境



病気の治療をするために、また健康を維持するために、様々な薬が使われています。体に入った薬は、体内で代謝されますが、一部は分解せずに、または形を変えて体外に排出されます。これらは下水を通して最終的に下水処理場に行きつきます。下水処理場では多くの汚染物質を処理していますが、医薬品の中には下水処理で十分に処理しきれない物質もあります。処理しきれないものは放流水とともに環境中に出てきます。

環境中に放出された医薬品は、食物連鎖に影響を与えたり、特定の薬剤に耐性を持つ細菌を環境中で発生させてしまう可能性があります。

このような環境リスクを調査するうえで、このよう

な影響がどの程度の濃度で起きるかを調べるとともに、医薬品が環境中にどのくらい存在しているかを調べることは重要です。国では化学物質環境実態調査という名前で、医薬品を含め多くの化学物質を対象に分析方法の開発や環境中での濃度を調査しています。

札幌市でもこの調査に参加して、近年では高血圧の薬であるアジルサルタン、抗菌医薬品のレボフロキサシンの分析法開発や環境中の調査を行っています。化学物質環境実態調査の結果につきましては <http://www.env.go.jp/chemi/kurohon/index.html> に掲載されています。

施設見学のご案内

- 見学ご希望の方は、右記まで事前にご連絡ください。
- ご見学は、できるだけ10名以上の団体をお願いします。
- 当所には来客用駐車場がありませんので、車での来所はご遠慮願います。

編集・発行

札幌市衛生研究所

〒003-8505 札幌市白石区

菊水9条1丁目

TEL 011-841-2341 FAX 011-841-7073

URL <http://www.city.sapporo.jp/eiken/>



さっぽろ市
02-F07-20-706
R2-2-532